

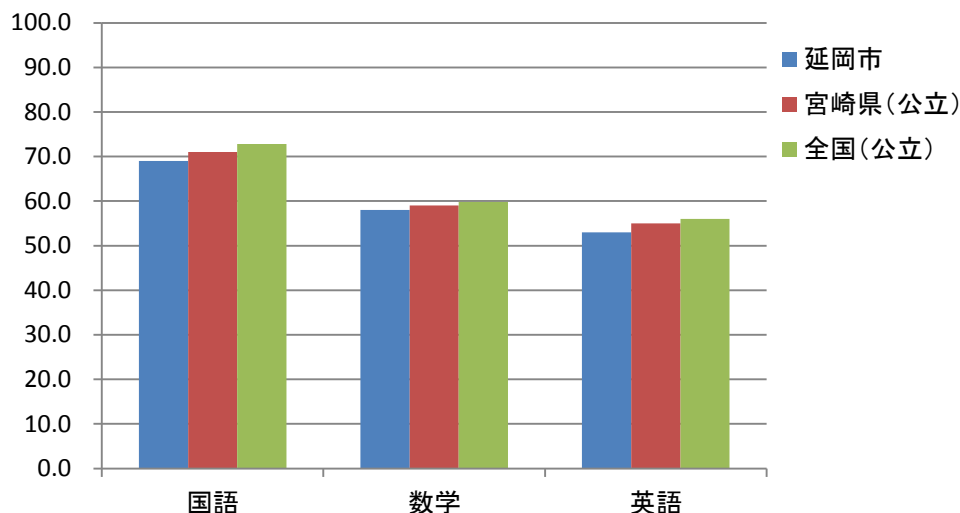
平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 延岡市の調査結果の概要（中学校）

延岡市教育委員会

※ 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であります。
「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査に関する実施要項」（文部科学省）より

1 平均正答率の状況

※平均正答率 … 個人の正答率（全設問における正答数の割合）を足し合わせ、生徒の人数で割った値



【全体の傾向】

延岡市の生徒の平均正答率と全国の平均正答率を比べますと、国語・数学・英語ともに、全国をやや下回っており課題が見られます。

領域で比べますと、国語では、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国平均を下回っています。数学では、「関数」、「資料の活用」において、全国平均とほぼ同程度であり、「図形」において、全国平均を下回っています。英語では、「書くこと」において、全国平均を下回っています。

調査問題の解答時間について、国語では8割以上、数学では7割以上、英語では5割以上の生徒が、「時間が余った」「ちょうどよかった」と答えています。

2 各教科の状況

【国語】

- 「相手に分かりやすく伝わる表現」に関する問題で、全国の平均正答率とほぼ同程度であります。
- 「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」、「封筒の書き方を理解して書く」、「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」に関する問題で、課題が見られます。

【数学】

- 「資料を整理した表から最頻値を読み取る」、「数の集合と四則計算の可能性について理解する」に関する問題で、正答率が高く、全国の平均正答率を上回っています。
- 「与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉える」、「結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する」に関する問題で、課題が見られます。

【英語】

- 「文の中で適切に接続詞を用いる」に関する問題で、正答率が高く、全国の平均正答率を上回っています。
- 「与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書く」、「一般動詞の2人称単数現在体制の疑問文を正確に書く」に関する問題で、課題が見られます。

3 生徒質問紙調査の状況

【将来について】

「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合が、全国平均より高いことがわかりました。

【生活習慣について】

「毎日、同じくらいの時刻に寝ている、起きている」、「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」、「自分には、よいところがあると思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【学習習慣について】

「読書は好きである」、「授業で学んだことを、他の学習に生かしている」について、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【学校生活について】

「学校の規則を守っている」、「人が困っているときは、進んで助けている」、「部活動に参加している」について、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【地域・社会への関心について】

「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より高いことがわかりました。

4 学校質問紙調査の状況

【指導について】

「指導計画の作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」、「前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行っている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【研修について】

「教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている」、「前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行っている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【家庭・地域との連携について】

「保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している」、「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行っている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。